

私は、今年の冬季キャンプが、YCES 生として初めてのサポートでした。

仙巖園では、示現流の体験をしました。示現流とは、薩摩藩を中心に伝わった古流剣術です。稽古にはゆすの木の枝を木刀として用い、「蜻蛉（とんぼ）」と呼ばれる構えから、立木に向かって気合と共に左右に激しく斬撃する「立木打ち（たてぎうち）」など、実践を主眼に置いた稽古をひたすら反復することが特徴である。また、島津家の一族が済んでいた屋敷を見ることが出来ました。

維新ふるさと館では、鹿児島の人ならだれでも知っている西南戦争や生麦事件について、ジオラマを見て深く知ることが出来ました。西南戦争とは、1877年に鹿児島県（他三つの県）において西郷隆盛を盟主にして起こった士族による武力反乱である。また生麦事件とは、島津久光の行列に乱入した騎馬のイギリス人を、藩士が殺傷した事件である。

田崎酒造では、米こうじやサツマイモを使ってどうやって焼酎が作られているかを学べ、ラベル貼り体験もできました。鹿児島の特産品について深く知ることが出来ました。

えぐち屋では、夜にレクリエーションをしました。日本語と身振り手振りしかできない状況で外国の子にどう伝えるかを考え、最初の人と最後の人と全然違うものを考えているなどとても楽しく会話をすることが出来ました。部屋では、外国と日本の考え方や物の捉え方の違いを感じる事が出来ました。

薩摩藩英国留学生記念館では、15人の留学生が渡英したことは知っていたが、どのような人物が派遣したのかなど、知らなかったことも知ることができ夏季キャンプまでにはより理解を深め、自分の言葉で説明ができるようになりたいと思った。

いちご狩りでは、みんなが一番良い笑顔で活動していた。

美山陶遊館でのろくろ体験では、一人ひとりの個性が出ており、作り終わる速さや大きさ、形などがさまざまでした。見ているときは簡単そうに思えたが、実際は、薄くし形を作ることがとても大変でした。夏季キャンプでは、早く終わらせて説明ができるようにしたいと思います。

今回のキャンプでは、東マレーシアでしたキャンプと違って勉強になった。今回を通して、鹿児島県の歴史や特産品について調べてみたいと思いました。